

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型支援事業所はなうた		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 12月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種連携による専門的支援 (言語聴覚士・理学療法士・保育士)	言語聴覚士・理学療法士・保育士などの専門職が連携し、児童の発達状況を多角的に評価しています。専門的視点を共有しながら個別支援計画の立案や日々の支援を行い、児童一人ひとりの特性や課題に応じた支援を提供しています。	専門職種でのケース検討や情報共有の機会を増やし、支援方法の統一や専門性の向上を図るとともに、保護者へのフィードバックを充実させ、より質の高い支援につなげていきます。
2	ソーシャルスキルの育成と家庭生活での困り感の軽減	個別課題と集団活動を組み合わせることで、児童一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を行っています。個別課題では必要な力を丁寧に育て、集団活動では友だちとの関わり方やルール理解などの向上を図り、家庭生活での困り感の軽減につながる支援を行っています。	児童の発達状況や課題に応じて活動内容を工夫するとともに、保護者と情報共有を行いながら、家庭生活でも活かせる関わり方や支援方法について助言を行い、より効果的な支援につなげていきます。
3	連携機関・保護者との信頼関係を基盤とした安全管理体制	園や関係機関、保護者との日頃からの情報共有を大切にし、児童の状況や変化を把握しながら安全に配慮した支援を行っています。	関係機関との連携をさらに深めるとともに、安全計画や各種マニュアルを活用した研修や訓練を継続して行い、安心して利用できる環境づくりをより一層進めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や、きょうだい児支援の機会不足	保護者同士が顔を合わせる機会が少なく、交流の場を十分に設けることができていない状況	今後は保護者会や交流会等の開催を検討し、保護者同士が情報交換できる機会づくりを進めていきます
2	家族支援プログラムの実施	電話・面談などを通して家庭での関わり方や対応方法について助言を行い、家庭生活での困り感の軽減につながる支援を行っています。	今後はペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムの実施や、保護者が参加できる研修の機会について検討し、家庭での支援力の向上につながる取り組みを進めていきます。
3	安全計画や虐待防止の取り組みの「見える化」と保護者への周知	安全計画や各種マニュアルを整備し、職員間で共有するとともに、避難訓練や安全管理に関する取組を実施しています。	今後は通信や連絡ツール等を活用し、安全計画や虐待防止の取組内容について保護者へ分かりやすく周知するとともに、安心して利用していただける環境づくりに努めていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型支援事業所はなうた (児童発達支援)

2026年 3月 13

公表日 日

利用児童数 5

回収数 4

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0	少人数制で安心です	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	0	とてもアットホームで落ち着いて活動できる環境	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0	活動部屋の人工芝がクッション効果もありいいなと思いました。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0	STやPTの職員から専門性の高い支援を受けれて満足している	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1	0	0	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	1	2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	1	2		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	1		相談や申入れができる体制について、連絡帳や面談等を通して改めて周知してまいります。今後も安心して相談いただける環境づくりに努める	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	1	配信方法や掲載場所について改めて案内し活動内容や行事予定、自己評価結果等の情報をより分かりやすくお伝えする
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	3	今後は実施状況や内容を通信や連絡帳等でお知らせし、保護者の皆さまに分かりやすくお伝えする。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0	学校や児童クラブよりも安心して通えているようです
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0	はなうたを利用する日を心待ちにしています
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型支援事業所はなうた (児童発達支援)

2026年 3月 13

公表日 日

利用児童数 5

回収数 4

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	0	0	0	少人数制で安心です	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	0	0	0	とてもアットホームで落ち着いて活動できる環境	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	0	0	0	活動部屋の人工芝がクッション効果もありいいなと思いました。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0	STやPTの職員から専門性の高い支援を受けれて満足している	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1	0	0	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	1	2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	1	2		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	1		相談や申入れができる体制について、連絡帳や面談等を通して改めて周知してまいります。今後も安心して相談いただける環境づくりに努める

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	1	配信方法や掲載場所について改めて案内し活動内容や行事予定、自己評価結果等の情報をより分かりやすくお伝えする
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	3	今後は実施状況や内容を通信や連絡帳等でお知らせし、保護者の皆さまに分かりやすくお伝えする。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0	学校や児童クラブよりも安心して通えているようです
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	4	0	0	0	はなうたを利用する日を心待ちにしています
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型支援事業所はなうた（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種連携による専門的支援 （言語聴覚士・理学療法士・保育士）	言語聴覚士・理学療法士・保育士などの専門職が連携し、児童の発達状況を多角的に評価しています。専門的視点を共有しながら個別支援計画の立案や日々の支援を行い、児童一人ひとりの特性や課題に応じた支援を提供しています。	専門職種でのケース検討や情報共有の機会を増やし、支援方法の統一や専門性の向上を図るとともに、保護者へのフィードバックを充実させ、より質の高い支援につなげていきます。
2	ソーシャルスキルの育成と家庭生活での困り感の軽減	個別課題と集団レクリエーションを組み合わせることで、児童一人ひとりの発達段階や特性に応じた支援を行っています。個別課題では必要な力を丁寧に育て、集団活動では友だちとの関わり方やルール理解などのソーシャルスキルの向上を図り、家庭生活での困り感の軽減につながる支援を行っています。	児童の発達状況や課題に応じて活動内容を工夫するとともに、保護者と情報共有を行いながら、家庭生活でも活かせる関わり方や支援方法について助言を行い、より効果的な支援につなげていきます。
3	連携機関・保護者との信頼関係を基盤とした安全管理体制	学校や関係機関、保護者との日頃からの情報共有を大切にし、児童の状況や変化を把握しながら安全に配慮した支援を行っています。また、送迎時の確認や職員間の情報共有を徹底し、安全管理に努めています。	関係機関との連携をさらに深めるとともに、安全計画や各種マニュアルを活用した研修や訓練を継続して行い、安心して利用できる環境づくりをより一層進めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流や、きょうだい児支援の機会不足	現在の運営では送迎時間が分散していることもあり、保護者同士が顔を合わせる機会が少なく、交流の場を十分に設けることができていない状況	今後は保護者会や交流会等の開催を検討し、保護者同士が情報交換できる機会づくりを進めていきます
2	家族支援プログラムの実施	送迎時や電話、面談などを通して家庭での関わり方や対応方法について助言を行い、家庭生活での困り感の軽減につながる支援を行っています。	今後はペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムの実施や、保護者が参加できる研修の機会について検討し、家庭での支援力の向上につながる取り組みを進めていきます。
3	安全計画や虐待防止の取り組みの「見える化」と保護者への周知	安全計画や各種マニュアルを整備し、職員間で共有するとともに、避難訓練や安全管理に関する取組を実施しています。	今後は通信や連絡ツール等を活用し、安全計画や虐待防止の取組内容について保護者へ分かりやすく周知するとともに、安心して利用していただける環境づくりに努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型支援事業所はなうた（放課後等デイサービス）			公表日	2026年 3月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善が必要と思われる点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		機銃な配置は常に満たしている。送迎レートの調整を行い職員一人における支援する児童の割合を少なくするよう配慮している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		事業所内の設備の視覚化おこない児童が自立的に活用できるよう努めている。バリアフリーが必要な児童を受け入れてはならずバリアフリー化できている箇所はない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		整理整頓、掃除、消毒は日々の業務の中で時間帯を決め実施し安心空間の確保を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		クールダウンや、体調不良、個別課題をおこなうためのプレイルームを確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		PDCAサイクルに参画し、日々の気づきや評価結果を支援に反映させている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者アンケートの結果を真摯に受け止め透明性の高い運営を行っていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		業務開始前後、定期的な業務会議、ケース会議を多職種で行い児童の特性にあった支援を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価を真摯に受け止め、今後も業務改善につなげていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修機会の案内を増やし、そこで得た知見を内部研修で還元するサイクルを強固にしている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		児童特性にあわせたステップを準備し「できた」の積み重ねを積み重ねを重視したプログラムを立案し実施している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		家族や他関連機関・事業所からの意見を確認し計画を立案。計画には家族・児童のニーズを反映させた計画立案となっている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		言語聴覚士、理学療法士、保育士と多職種で介入し計画の立案を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		日々、計画を共有しており、それを基に定期的にケース会議を行うことで、すべてのスタッフが介入を行っても支援に沿った介入となるように取り組んでいる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		客観的評価、主観的な評価を総合的に判断して計画作成に反映させている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画にあたり「本人支援」だけでなく、家庭の休息や相談に応じる「家族支援」、学校や将来の生活を見据えた「移行支援」、そして学校や地域と手をつなぐ「地域連携」の4つの視点を盛り込んでいる	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		保育士、言語聴覚士、理学療法士などの多職種で意見を出し合うことで児童の特性に即したプログラムを立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		日々の支援の中で気づいた児童の興味関心、課題を共有し、素早く活動案へ反映できる体制を整えている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	こども状況や、特性に配慮した個別・集団活動を組み合わせ支援を行っている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>	活動案をもとに職員の配置、担当児童、役割分担を確認を行いチームで支援を行っている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>	活動終了後に振り返りを行い、新たな気づきを共有できている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>	「達成した課題」「成功した関わり方」を記録・共有しスタッフ間での支援の統一を図る。モニタリング時における成長の根拠として活用している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>	定期的にモニタリングを実施するとともに、スクリーニングや評価を行い、目標の達成度を数値化・グラフ化して支援の変化を可視化しています。これらの結果を基に職員間で共有・検討し、個別支援計画の適切な見直しに活かしています
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	<input type="radio"/>	ガイドラインの4つの基本活動を組み合わせ、児童の発達段階や特性に応じた支援を行っています。また、言語・社会性・運動等の発達領域を踏まえ、専門職や職員間で情報共有を行いながら活動内容の充実に努めています
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>	こどもが自分で選択できる機会を設けることで自己決定を促す支援を行っています。また、こどもの気持ちや意見を大切にしながら関わり、主体的に活動へ参加できるように支援しています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>	サービス担当者会議や関係機関との会議には、児童の支援に日常的に関わり状況をよく理解している職員が参加し、日々の様子や支援状況を共有しています。今後も関係機関と連携を図りながら、より適切な支援につなげていきます
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>	学校の先生と日頃からコミュニケーションを図り、支援上の配慮事項や家庭での変化等について情報共有を行っています。今後も保健・医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、こどもの状況に応じた支援が行える体制づくりに努める
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>	学校内や送迎中にトラブルがあった際は直ちに学校・家庭・事業所間で連絡を取り合う体制を整えています
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>	新規利用児には、就学前に利用していた保育所や児童発達支援事業所での様子を保護者からヒアリング行い必要があれば各機関へヒアリングを行う
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>	対象児童がいらないため行う機会がない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>	外部機関の専門職に直接支援現場を見てもらう機会を増やし環境設定や個別のかかわり方について具体的かつ客観的なフィードバックを得る機会を設ける
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>	地域の祭りやボランティア活動などへの参加機会を模索し児童が地域住民とより深く触れ合える場面を増やしていくことで社会参加の幅を広げていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>	今年度の参加はなし
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>	ICT機器を用いた日々の活動報告や連絡帳でのやり取り、送迎時の対面での報告を通して、こどもの様子や発達状況、課題について保護者と情報共有を行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>	現在、集団でのペアレント・トレーニングは実施していませんが、送迎時や電話連絡等の機会を通して、ご家庭での関わり方や対応方法について助言や情報提供を行っています。今後も保護者の不安や悩みに寄り添いながら、家庭での支援につながる関わりを行う
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	契約時に運営規定や重要事項説明書を用いて丁寧に説明を行っている。実際の支援プログラムについては体験利用を通して説明を行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>	面談や日々のやり取りを通して、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けています。こどもの最善の利益を大切にしながら、ご家族の思いや希望を踏まえた支援計画の作成に
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>	放課後等デイサービス計画の作成後は、計画書をお示ししながら支援内容やねらいについて説明を行い、保護者にご理解いただいた上で同意をいただいています。今後も丁寧な説明を心がけ、安心して利用していただけるよう努めてまいります
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>	送迎時や日頃のコミュニケーションを大切に、保護者が相談しやすい関係づくりに努めています。子育てに関する悩みや不安について相談を受けた際には、面談や日々のやり取りを通して必要な助言や支援を行っています

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	現在、保護者会やきょうだい同士の交流の機会は設けておりませんが、今後は保護者の皆さまのご意見やニーズを踏まえながら、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会づくりについて検討していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情受付体制を整備し、重要事項説明書等で保護者へ周知しています。現段階で苦情は発生していないが、苦情やご意見があった際には管理者を中心に内容を確認し、職員間で共有・検討を行い、再発防止をおこなう
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	ICTを活用した連絡ツール等を通して、日々の活動の様子や連絡事項について保護者へ情報発信を行っています。今後も活動概要や行事予定、連絡体制等について分かりやすくお伝えできるように、情報発信の充実に努めていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報の取扱いについては、関係法令を踏まえ適切に管理し、職員間でも取扱い方法を共有しています。書類や記録の保管、情報の取扱いには十分留意し、個人情報の保護おこなっている
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	こどもの発達段階や特性に配慮し、分かりやすい言葉かけや視覚的な提示などを用いて意思の疎通を図っています。また、保護者へはICT連絡ツールや送迎時の対面での説明等を通して、丁寧な情報伝達を行っている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現在、地域住民を招待する行事は実施しておりませんが、今後は児童の安全面や特性に配慮しながら、地域との関わりを大切に、地域に開かれた事業所運営となるよう取り組みを検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等のマニュアルを整備し、職員間で共有しています。また、マニュアルを基に非常時を想定した避難訓練等を実施し、万が一の際に適切に対応できるようにしている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備えた体制を整えています。また、避難訓練等を定期的に実施し、職員間で対応手順を確認しながら、安全に配慮した支援が行えるようにしている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	利用開始前の面談において、服薬状況や予防接種、てんかん発作等の既往について詳細にヒアリングを行い、必要に応じて対応方法を確認しています。事前に対応策を検討し、安全に配慮した支援が行えるよう努めています
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	食物アレルギーのある児童については、利用開始時の面談等で保護者から情報を確認し、必要に応じて医師の指示内容を踏まえた対応を行っています。職員間でも情報を共有し、安全に配慮した支援に努めています
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画に基づき、送迎時の安全確認や施設設備の定期的な安全点検を行っています。また、災害時の対応方針を職員間で共有し、訓練等を通して安全管理を徹底しながら安心して利用できる環境づくりに努めています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全計画に基づく取組内容について、現在は十分な周知が行えていないため、今後は面談や連絡ツール等を通して保護者へお知らせしていきます。また、避難訓練等を保護者にも体験していただく機会を設け、安心して利用いただける環境づくりに努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット事例については記録を作成し、職員間で共有しています。発生した事例をもとに原因や対応方法を検討し、再発防止に向けた対策を確認することで、安全な支援につながるよう努めています
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止に関する研修の機会を設け、職員が適切な知識や理解を深められるよう取り組んでいます。今後も研修や職員間での情報共有を行いながら、虐待防止に努め、安心して利用できる支援体制の充実に努めてまいります
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	身体拘束は基本的に児童の権利を制限するものであるため、原則禁止であることをスタッフ間で徹底している	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型支援事業所はなうた（放課後等デイサービス）

公表日 2026年3月13日

利用児童数 9

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	1		日々の活動報告に目的やねらいを記載し、保護者の皆さまに活動内容を理解していただけるよう努める。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	1		お子さまの様子や保護者のニーズ、支援のねらいについて分かりやすく説明し、ご理解いただけるよう努めて
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	0	0	0	5		地域資源の情報収集を行いながら、児童の特性や安全面に配慮し、地域の子どもたちと関わる機会づくりを検討
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	0	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	6	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	6		交流の機会は設けておりませんが、今後は保護者の皆さまのご意見やニーズを踏まえながら、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会づくりについて検討
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	0	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0	安心してかよえている	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0	はなうたの利用日を待ちわびている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0	専門性の高い支援、本人の課題に即した支援をしてもらっている 個別課題の時間が毎日あるので嬉しい	